

# ほかほかタイム

第2回目の「ほかほかタイム」は、自治医科大学附属病院の医師、渡邊裕昭様をお招きして、お話を伺いました。

私も、みなさんと同じ今市に生まれ、今市で育ちました。今市小学校に通ったのですが、小学校のときは野球部に入っていました。その当時、今三小の野球部がとても強くて、一生懸命練習をやってもなかなか勝てなかったのを覚えています。その後今市中学校に進み、陸上部に入りました。陸上部で一生懸命走っていました。



ここで、みなさんにメッセージがあります。小学校では、ぜひやりたいことを一生懸命やってください。私も野球や走ることを一生懸命やってきました。サッカーが得意な人はサッカーを、ピアノが好きだという人はピアノを、また虫が好きならば虫博士を目指してなど、何でもいから、1つのことをとことんがんばってやるのが大事だと思います。そうすると、将来目指す方向性が見えてくると思います。

私は今、(実物を見せて)この聴診器を使って仕事をしています。これで何を聴いているか知っていますか？そう、心臓の音を聴くものです。私は、みんなの胸の真ん中にある心臓を専門に見る医者です。心臓の音を聴いて、元気かどうか診断する仕事をしています。今日は心臓の音をみなさんに聞いてもらおうと思って用意してきました。(心臓の音)緊張とかしなくても、胸がどきどきして苦しいんだという人を治療しています。私はそんな人を助ける自信があります。でも医者ではないみんなも、AEDがあれば、倒れている人を助けることができます。心臓マッサージができれば最高です。私はこの中(心臓の模型)に「カテーテル」という細い管を入れて、心臓の手術をしています。でも、私一人では手術はできません。たくさんのほかのお医者さんと看護師さんなど、みんなで力を合わせて手術をして病気を治しています。

渡邊様は、スライドや模型、実物などを準備してくださって、子ども達の興味をひきながらお話してくださいました。またお話の後、「医者になるのが夢だ」という3年生の児童が「お医者さんで大変なことは？」と質問しました。それに対し「人の命を預かるから、生半可な気持ちではできません。強い気持ちがないとお医者さんにはできないと思います。」と答えてくださいました。



子ども達の感想は、裏面に載せてありますので、ご覧ください。

ほかほかタイムのお知らせ  
日(水) 1:30~  
ヨ光市自然博物館  
小林 幹広様  
真入口からお入りください  
リッパを御持参下さい。

## キ リ ト リ

保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当：大森

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただくことがありますので、御了承ください。